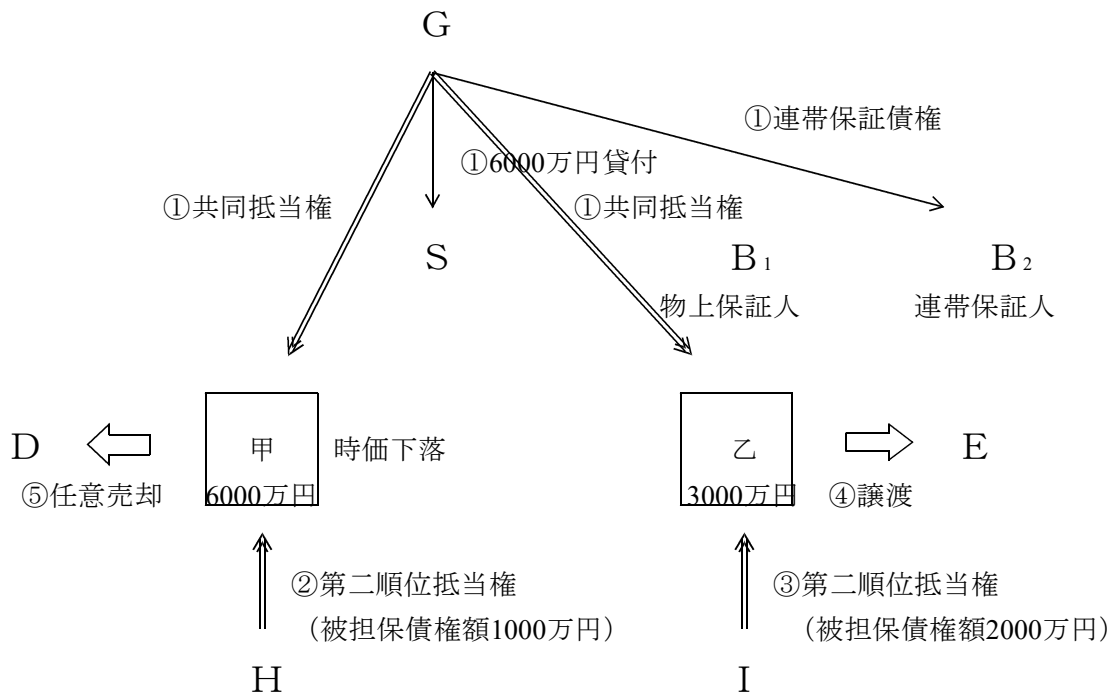


## 第5回講義参考資料

2017/09/06

### 【当事者関係図】



### 【本日言及する(可能性のある)判例・文献】 (太字は事前指示判例・文献)

#### ◎判例

- |                                  |                   |
|----------------------------------|-------------------|
| 1) 大判昭6年3月16日民集10巻157頁           | <LEX/DB 27510396> |
| 2) <b>最判昭53年7月4日民集32巻5号785頁</b>  | <LEX/DB 27000239> |
| 3) <b>最判昭44年7月3日民集23巻8号1297頁</b> | <LEX/DB 27000805> |
| 4) 最判平4年11月6日民集46巻8号2625頁        | <LEX/DB 27813802> |
| 5) 大判昭15年5月14日民集19巻840頁          | <LEX/DB 27500217> |
| 6) 大判明40年5月16日民録13輯519頁          | <LEX/DB 27521100> |
| 7) 最判昭37年1月18日民集16巻1号36頁         | <LEX/DB 27002210> |
| ←原審：高松高判昭35年2月25日民集16巻1号42頁      | <LEX/DB 27203096> |
| 8) 最判昭41年4月12日金判4号18頁            | <LEX/DB 25401026> |
| 9) 最判昭54年12月18日判時953号57頁         | <LEX/DB 27405188> |
| 10) <b>最判平8年12月19日金法1482号77頁</b> | <LEX/DB 28020789> |
| 11) 大判昭12年5月15日新聞4133号16頁        | <LEX/DB 27545153> |
| 12) 最判昭59年5月29日民集38巻7号885頁       | <LEX/DB 27490199> |

◎学説

- 1) 磯村哲編『注釈民法(12)』(有斐閣、1970年) 365頁以下 [石田喜久夫]
- 2) 我妻栄『新訂債権総論』(岩波書店、1964年) 267頁、264頁
- 3) 中野貞一郎＝下村正明『民事執行法〔第7版)』(青林書院、2016年) 363-364頁
- 4) 高木多喜男「後順位抵当権者のための共同抵当権者の担保保存」金法1382号(1994年) 26頁
- 5) 鈴木正和「銀行取引と担保保存義務」判タ578号(1986年) 23頁
- 6) 松岡久和「担保保存義務の忘れられた要件」現代民事判例研究会編『民事判例Ⅱ 2010・後期』(本評論社、2011年) 6頁
- 7) 西村信雄『継続的保証の研究』250頁(有斐閣、1952年)
- 8) 加藤一郎＝鈴木禄弥編『注釈民法(17)』(有斐閣、1971年) 331頁 [鈴木禄弥]
- 9) 椿寿夫「債権者の担保保存義務」金法512号(1968年) 18頁
- 10) 鈴木正和「参考判例①判批」判タ775号(1992年) 65頁
- 11) 「鼎談 金融法務を語る」銀法510号(1995年) 34-36頁 [伊藤進・上野隆司発言]
- 13) 角紀代恵「必読判例②の原審判批」金法1428号(1995年) 38頁

**【承諾または同意のチェック表】**

	S	B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>	H	I
甲上の抵当権の放棄					
乙上の抵当権の放棄					
任意売却計画案					

○：承諾または同意が必要、×：承諾や同意は不要